

<進捗のご報告>
介護における生産性向上および標準化のための
プラットフォーム構築の研究

2025年3月11日

株式会社 善光総合研究所

代表取締役社長 宮本 隆史

1. 当社の事業概要

2. 本年度の研究の概要

3. 本年度の開発内容

4. 今後のスケジュール等

当社は、介護業界における人材難や収益の悪化といった問題に対して、官民の垣根を超えた協力関係の下で、介護現場の深い知見を活用した事業展開を行っている。

善光総合研究所

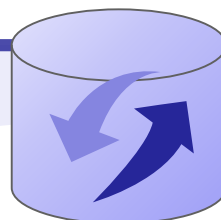
研究・調査事業

システム開発事業



「介護」に携わる
様々なステークホルダーに向けて
ソリューションを提供する
SCOPの開発販売

あらゆる
介護関連データの
集約と利活用



デジタル人材育成事業



テクノロジーを活用し
次世代をリードする介護士の
輩出を目指す、
スマート介護士資格試験の運営



アカデミア



国立研究開発機関



介護事業者



メーカー



地方公共団体



行政

解決課題

科学的介護による品質向上

介護事業者の生産性向上

誇大化する介護費と
介護人材不足

1. 当社の事業概要

2. 本年度の研究の概要

3. 本年度の開発内容

4. 今後のスケジュール等

1. 当社の事業概要

2. 本年度の研究の概要

3. 本年度の開発内容

4. 今後のスケジュール等

具体的な開発項目と進め方

1. 業務効率改善度合いを測るためのツール開発

新業態への対応に先立って、現場スタッフの業務時間及び業務量調査が行える計測ツールの開発を行う。を行う。スマートフォンでのアプリを想定しており、業務時間の計測および集計のための業務を短時間・低負荷で行えるようにする。アプリの設計にあたっては、これまで計測を行ってきたスタッフの経験知を集約し進める。

⇒タイムスタディアプリの開発

2. 新対応業態に必要な機能の開発

新対応業態である小多機事業所に必要な機能の整理、集約を行う。小多機事業所に向けては、各利用者のサービス利用計画の作成業務をシステム化することで実績までのデータを一元管理することを目指す。また、日々の業務の中で負荷のかかる連絡帳の作成業務を軽減する機能なども検討する。

⇒小多機・看多機向け機能の開発

3. 新対応業態における業務効率の変化の計測

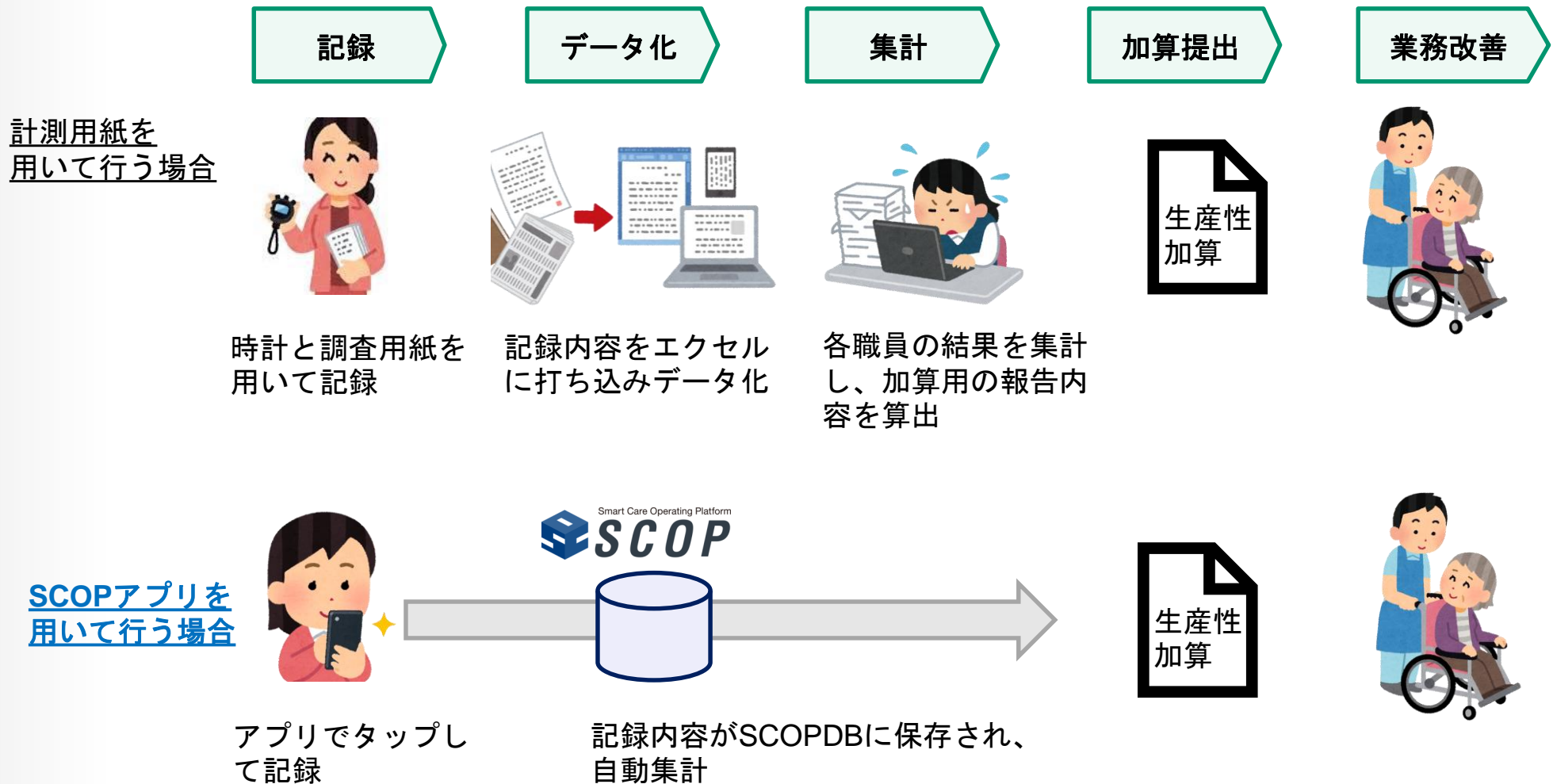
上記 2 つの開発を活かし、新対応業態における現場スタッフの業務効率の変化を計測し、評価を行う。

⇒小多機事業所にて

SCOP導入前後の業務量調査を開発したタイムスタディアプリを用いて実施

新業態への対応に先立って、現場スタッフの業務時間及び業務量調査が行える計測ツールの開発を行った。
このツールは、R6年度の介護報酬改定にて新たに追加された「生産性向上推進体制加算」の対応要件でも活用できる。スマートフォン（ios/Android）アプリにて、業務時間の計測および集計のための業務を短時間・低負荷で行えるようにした

タイムスタディの実施方法比較



実際のプロダクト画面

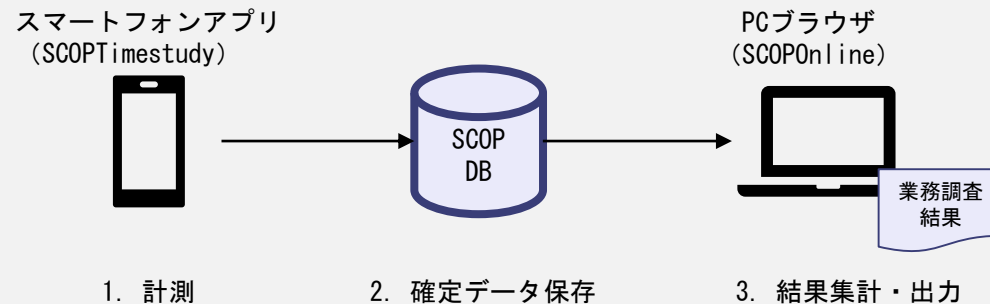
1. タイムスタディアプリ画面イメージ



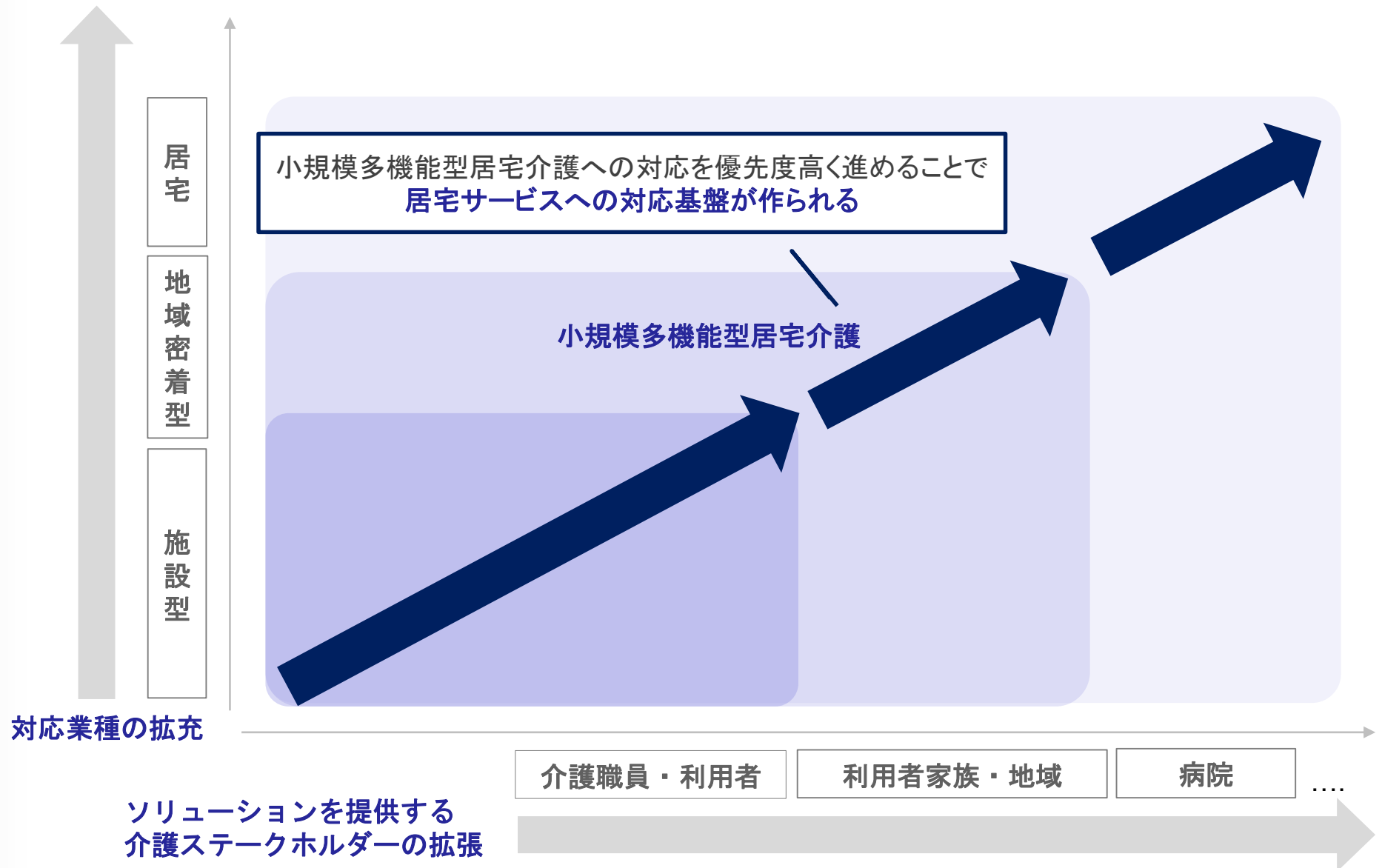
2. SCOPonline (調査結果管理) 画面イメージ



システム構成と業務の流れ



様々な業態がある中でも、本年度は、今後の対応業態拡充を見据えてデイサービス、ショートステイ、訪問介護を1事業所で運営する「小規模多機能型居宅介護（小多機）」を追加業態のモデルとして開発を進めている。



現SCOP記録モジュール（入所系サービス）との機能差分

| | 入所系サービス機能 | 小多機用機能 |
|----------------------|--|---|
| A. 利用者管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者情報登録 | 左記に加えて <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者別利用サービス登録 |
| B. 計画策定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者入退所管理 | 左記に加えて <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設月次利用計画管理（作成・編集） ・ 利用者月次利用計画管理（作成・編集） |
| C. ケア記録 （連絡） | <ul style="list-style-type: none"> ・ ケア記録 ・ 申送り | 左記に加えて <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間別施設利用者数管理 ・ 利用者到着・出発実績登録 ・ 日次連絡帳データの出力 |
| D. サービス利用 実績管理 | 該当機能なし | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者への請求に係る項目管理・出力 【手書きのサービス提供表の代替】 ・ 利用者別サービス利用回数の出力 |
| E. 請求 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 請求データ作成 ・ 国保連伝送 | 左記に同じ |

実際のプロダクト画面とケア記録を印字した連絡帳例

09/10(火) サマリーボード ◀▶ 表示範囲

サマリー 排泄 食事・服薬・水分

利用者 申送 送迎 予定 体温 血压

| | | | | | |
|---------------|--|----------|--|--|--|
| 通 泊 塩※ 佑※※ | | 迎え 送り | | | |
| 通 勝 祐※ | | 迎え 送り | | | |
| 通 高※ 佐※※ | | 迎え 送り | | | |
| 通 岩※ 誠※ | | | | | |
| 通 磯※ 響 | | | | | |
| 713 加※ 真※※ | | | | | |
| 714 | | | | | |

サマリ 記録 申送り

連絡帳

| | | | | | | | |
|--------|---------|------|----------|---------|---------------|------|--------|
| 利用者様氏名 | 小野 美紀 様 | 事業所名 | 小規模多機能施設 | サービス提供日 | 2025年2月18日(火) | 管理者印 | 最終確認者印 |
|--------|---------|------|----------|---------|---------------|------|--------|

種別 あり なし

ご本人様・ご家族様より

健康チェック

| | | | | | | | | |
|-------|----|---------|---|----|---|---------|--------|---|
| 16:00 | 体温 | 36.8 °C | : | 血压 | / | mmHg/脈拍 | 回/SPO2 | % |
| 09:00 | 体温 | 36.5 °C | : | 血压 | / | mmHg/脈拍 | 回/SPO2 | % |

保清

清拭 (全身・部分 ()) 移乗 乗降介助 (車利用の一連の業務)

全身浴 (入浴・シャワー浴) 移乗介助

部分浴 (手・足) 洗髪 洗面 体位交換 () 時間・分毎に1回

身体整容 入浴 口腔ケア 爪切り

排泄介助 トイレ Pトイレ おむつ交換 ベッド交換 尿器 膝部洗浄 排泄処理

その他 () バルンパック (破棄時間 : , cc)

食事・服薬

水分摂取量 (cc)

食事摂取量

| | | | | |
|-----|----------|----------|----|--|
| 朝食 | 主食 (割合) | 副食 (割合) | 服薬 | 朝食 (<input type="checkbox"/> 前 <input type="checkbox"/> 後) |
| 昼食 | 主食 (割合) | 副食 (割合) | | 昼食 (<input type="checkbox"/> 前 <input type="checkbox"/> 後) |
| 夕食 | 主食 (割合) | 副食 (割合) | | 夕食 (<input type="checkbox"/> 前 <input type="checkbox"/> 後) |
| おやつ | (割合) | | | 眠前 (<input type="checkbox"/> 実施) |

<通いでの様子>

<泊りでの様子>

巡視 () 時間・分毎に1回

睡眠状態 良眠 浅眠 不眠

ご本人の様子

記載者名: 記載者名:

<特記事項>

ひな祭り会を行いました。とても穏やかに過ごされており、写真撮影をした様子を共有いたします。明日は、〇〇をご持参ください。

今期の開発内容を活かし、新対応業態における現場スタッフの業務効率の変化を計測し、評価を行う。

1. 実施概要

小規模多機能型居宅介護の事業所にてSCOPを導入前と導入後で主に間接業務に関する業務量調査を行う。

2. 実施内容詳細

実施時期

導入前調査：2024年8月（計4日間、日中・夜間業務、総計96時間）

導入後調査：2025年1月（計4日間、日中・夜間業務、総計100時間）

実施前提

- なるべく同様のシフトパターン（業務内容）にて計測し、業務量の変化が確認できるよう、調査員スケジュールを調整した

例) タイムスタディ調査計画書類

| 時間 | 月水金 | | | | | | | 火木土日 | |
|----|-------------|-------------------------------------|------------------------------|------------------|-------------------|------------------|---|------------------|-------------------|
| | 明け | 時短 7:30 ~10:00 16:00~18:30 | 時短 9:00~ 14:00 (13:00) | 日勤 9:00~18:00 | 日勤 10:00~19:00 | 遅 10:30~19:30 | 入 | 日勤 9:00~18:00 | 日勤 10:00~19:00 |
| 6 | 提供 | | | | | | | | |
| 7 | 口腔ケア | | | | | | | | |
| 8 | 迎え入れ・バイタル測定 | 送迎・訪問 | | | | | | | |
| 9 | 迎え入れ・バイタル測定 | 送迎・訪問 | 送迎・訪問 | 入浴 | | | | | |
| 10 | | 送迎・訪問 | 送迎・訪問 | 入浴 | 朝の会 | | | | 朝の会 |
| 11 | | | 送迎・訪問 | 入浴 | トイレ誘導 | 昼食作り | | トイレ誘導 | トイレ誘導 |
| 12 | | | 送迎・訪問 | | 口腔ケア | 口腔ケア・片付け | | | 口腔ケア |
| 13 | | | 送迎・訪問 | | | | | | |
| 14 | | | | 入浴 | | レク | | レク | |
| 15 | | | | | おやつ | | | | おやつ |

3. 実施結果

■全シフトにおける業務割合変化

| 導入状況 | 直接介護時間 | 間接業務時間 | その他時間 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 導入前（計：96H） | 28.0% | 62.0% | 10.0% |
| 導入後（計：100H） | 29.8% | 49.6% | 20.5% |

間接業務時間が削減され、休憩・待機（余裕）時間が増え、
直接介護時間や利用者コミュニケーションへ割ける時間が増加した

■日中シフトにおける業務割合変化

| 導入状況 | 直接介護時間 | 間接業務時間 | その他時間 |
|------------|--------|--------------|--------------|
| 導入前（計：76H） | 33.7% | 58.3% | 7.2% |
| 導入後（計：80H） | 32.9% | 50.5% | 16.6% |

■夜間シフトにおける業務割合変化

| 導入状況 | 直接介護時間 | 間接業務時間 | その他時間 |
|------------|--------|--------------|--------------|
| 導入前（計：20H） | 6.1% | 76.1% | 17.8% |
| 導入後（計：20H） | 5.3% | 41.9% | 52.6% |

3. 実施結果

SCOPを利用することで大幅に削減できた業務

| 対象業務名 | 導入前 | 導入後 | 削減率 |
|---------|---------|--------|----------|
| ケア記録時間 | 10時間21分 | 9時間16分 | ⇒約10% 削減 |
| 職員間共有時間 | 7時間42分 | 4時間2分 | ⇒約50% 削減 |

4. 年初の目標設定値に対する結果

| 開発項目 [↙] | 目標値 [↙] | |
|---------------------------|--------------------------|---|
| | 要素項目 [↙] | 客観的状态／数値目標 [↙] |
| 全入所系サービスへの対応 [↙] | 新業態における業務効率 [↙] | 新業態での業務効率向上/対象業務において20%に値する業務時間の削減 [↙] |

結果： 対象業務において、20%以上の業務時間の削減が行えた

ご清聴ありがとうございました。

善光総合研究所

株式会社 善光総合研究所

〒107-0062 東京都港区南青山6-7-2 VORT南青山 2F

Email | contact@zenkou-lab.co.jp



<https://scop.sfri.jp/>